

令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書

小野児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 活 動	けんだまチャレンジ	22		2	296		12						310	けんだまの技に挑戦し検定を受ける	お互いに切磋琢磨しあいながら、けんだまが上達していくこどもが多かった。	
	運動場あそび	29		8	1514		3	186	1				1712	週1回小学校の運動場を借りて学年に分かれてドッジボールを行う	体を動かす機会となったと同時に、ドッジボールを通してこどもたちの関係も深まった。	
	もしかめチャレンジ	22		3	297		9						309	けんだまのもしかめの技に挑戦し回数を記録する	多くのこどもたちが自己記録更新のために努力をしていたが、けんだまチャレンジ同様、自由来館で挑戦してくれるこどもたちが少なかった。	
	ピンポンしよ!	12		18	25		5	29					77	月1回小学3年生以上が参加。楽しみながら卓球を行い、上達を図る	継続的に行うことで卓球の上達が見られたり、自由来館のこどもが児童館に遊びに来るきっかけともなっていた。	
	けんだま総練習 スタッフ会議	1			15								15	けんだま総練習にむけてこどもスタッフの打合せ	会議から本番までの期間が短かった	
	けんだま総練習	1			69		2						71	1年生にけんだまの技や使い方を指導する	1年生がけんだまを始めるきっかけになった	
	おやつマーケット	1		1	43		3	7					54	カードラリー方式でおやつ売り買いを楽しむ	有意義な代休日を過ごせた	
	七夕工作～くらげちゃん をつくろう～	4			59		2								スズランテープを使い、季節感と涼感のある製作	素材の質感を活かした工作ができた
	交通安全教室	1			54		2	6					62	警察官から交通ルールや命の大切さのお話を聞く	夏休み前の気が緩むタイミングで開催でき、こどもたちの交通安全意識の高まりにつながった。	
	夏工作スタッフ会議	1			6								6	こどもスタッフが企画した工作に向けて準備や担当決め	責任感を持って取組んでいた	
	避難訓練	4		2	68		2	9					81	地震や火災、水害など、万が一の災害に備えての避難訓練を行った。	災害時に避難する際に気をつけることなどを学ぶことができた。	
	夏工作	5			59		1	7					67	無地の布バッグにオリジナルのイラストを描く	こどもスタッフが低学年にわかりやすくアドバイス・サポートしている姿がみられた	
	将棋週間	3			33		2	9				8	52	民生児童委員にも参加してもらい、将棋に親しむ	地域の方と接するよい機会となった	
	将棋大会	1			14		3	4					21	将棋週間に参加した子を対象にトーナメント方式で対局	真剣な雰囲気での対局に臨んでいた	
防犯教室	1			55		5						60	山科警察署スクールサポーターの方に来ていただき、不審者対応や自分の身を守るための話を聞く	真剣に話をきき、防犯についての意識を高めているこどもが多かった。		
クリスマス会実行委員会	9			66		5						71	応募したこどもスタッフが担当を決め、練習や準備を進める	本番に向けて高揚感を持って取り組む子が多かった。		

能	クリスマス会	1			55		5						60	クリスマスにちなんだお話やハンドベル演奏等、クリスマスの雰囲気を楽しむ	楽しい雰囲気で開催でき、こどもスタッフも達成感を得られたようだった
	豆うつし	1			28		1						29	30秒間でお皿からお皿へ豆をお箸でつまんで移し、その個数を記録する	節分という季節を意識して、楽しくとりくめた
	冬工作～オリジナルフォトフレーム作り～	6			68		4						72	ガラススタイルやビーズなどを貼り付けて写真立てを装飾する	自分がデザインした工作ができる喜びがあり、全員とても楽しんでた
	合 計	125	0	34	2824	21	302	1	0	0	0	8	3129		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子ども育成機能 合 計		125	0	34	2824	21	302	1	0	0	0	8	3129		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書 (小野) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア							
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
子ども 家庭 支 援 活 動	よちよちクラブ	38	122						1	113					236	児童館のおもちゃを出して主に自由あそびや保護者同士の交流の機会を作る。また、よちよちクラブではミニすべり台やトランポリンなど体を使って遊べる遊具も出して、取り組みの最後には体操・手あそび・読み聞かせなどを行う。	こどもが自由にあそびながら、保護者同士が会話を通じて関係を深めていく場面が見られた。
	はいはいクラブ	40	71						1	70					142	児童館のおもちゃを出して主に自由あそびや保護者同士の交流の機会を作る。また、はいはいクラブではボールプールを出して低月齢のこどもたちでも過ごしやすいようにしていた。取り組みの最後には体操・手あそび・読み聞かせなどを行う。	クラブの最後に行う体操をこども自身が楽しみにしていたりと、保護者だけでなくこどもの楽しみにもつながっていた。
	すくすくクラブ	37	61						2	58					121	年間登録制乳幼児クラブ。季節の工作やあそび、おでかけなど、設定あそびと自由あそびを週替わりで行い、保護者同士や親子の交流を図る。	年間を通じて同じメンバーで過ごしていく中で、保護者同士の関係も深まり、様々なあそびを行うことで児童館への来館を促すことにもつながった。
	はぐみんひろば	6	11							16					27	言語聴覚士の先生に来ていただき、こどもの遊びの見守りしながら発達相談ができるひろば	利用者が少ないことが課題ではあるが、この取り組みのために他学区から来られる方もいらっしやった。
	乳幼児親子防災訓練	1	5							5					10	クラブに参加している親子対象に地震時の身を守るポーズや避難訓練を行う	日常では意識しない避難行動を行い、保護者の防災意識の高まりにつながった。
	なつのひろば	1			12		4							4	20	地域の方とエコバッグ作りを通して交流	作業を通じて会話弾んでいた
	合 計	123	270	0	12	0	4	4	262	0	0	4	556				

		子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路	件数	相 談 内 容	件数	つないだ機関等	件数
(3)子育て家庭相談・援助活動	乳児	5	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }	44	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }	12	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		
	幼児	3							
	小1～3年(自由来館)	36							
	小1～3年(学童)					9			
	小4～6年(自由来館)					0			
	小4～6年(学童)					2			
	中学生					18			
	高校生								
	件数 計	44	—	44	—	44	—	0	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題	
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題		

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。



地域	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度		議題/取組内容		成果と課題			
			小野児童館運営協力会		小野学区自治連合会 小野学区社会福祉協議会 小野学区民生児童委員協議会 小野学区少年補導委員会 小野学区交通安全委員会 小野学区防犯推進協議会 小野小学校 小野小学校PTA		年度末に1回、会議を開催		児童館と学童事業の活動報告と次年度の計画を報告する。各団体からは活動報告と児童館に関する情報や地域の状況を報告していただき共有した。		児童館の活動を知ってもらい、地域のこどもたちの様子や課題を地域諸団体長の方々と共有ができた。また、地域と児童館それぞれの視点から地域課題などに向けた今後の活動に活かしていくことができ、連携をより深めることができた。			
福祉促進	社促進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題					
			図書の貸し出し		家庭での余暇対策や子育て支援として		児童館利用者及び地域住民		利用者は限定されているが、小学生だけでなく乳幼児の保護者が借りていかれることもあり、ニーズに応える取り組みとなっている					
機能	活動	(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	
			利用者共通アンケート		利用者ニーズ等の把握		児童館利用者		京都市社会福祉協議会		アンケート用紙配布・記入 WEBによる回答		児童館の取り組みに対する利用者の思いやニーズなどを把握することができ、今後の運営、活動などに活かすことができる。 WEBによる回答率が低くなる傾向があり、おたよりや掲示などにより広く呼び掛けていく必要がある。	
			乳幼児クラブ 年度末アンケート		利用者ニーズ等の把握		乳幼児クラブ登録保護者		小野児童館		アンケート用紙配布・記入		年間を通した乳幼児クラブへの感想だけでなく、活動へのニーズを把握することで、次年度の活動・企画に反映することができる。	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	おのじどうかんだより	月1回	地域住民、児童館利用者、小野小学校全家庭・教職員、運営協力会各種団体、山科子どもはぐくみ室、勤修中学校、学区内保育園	児童館掲示、利用者に直接配布、各種団体長への持参、ホームページへの掲載、はぐくみ室等での配架など	毎月の行事予定、クラブ・広場などの予定、行事・取り組みの報告、児童館の利用方法周知、その他お知らせなど	小学校や各種団体などに対して児童館事業の広報を行うことで、ご理解とご協力をいただき連携を深める機会となっている。しかし、行事の広報は行っているが自由来館児童の利用者が少ないことが課題である。
	がくどうだより	月1回	学童クラブ登録家庭、運営協力会各種団体	うえぶさくらでの配信、各種団体長への持参など	学童クラブの毎月の行事予定、取り組みの報告、その他お知らせなど	学童児童の活動や生活を理解してもらい、家庭との信頼関係を築くための媒体となっている。
	ホームページ(京都市の児童館)	月1回	主に乳幼児の保護者	ホームページに掲載	おのじどうかんだよりの掲載と事業の案内	児童館を利用できる日時や行事をWEB上で確認できるツールとなっている。
	はぐくみだより(アプリ含む)への掲載	月1回	主に乳幼児の保護者	子どもはぐくみ室へ掲載依頼	毎月の行事予定・案内	児童館を利用できる日時や行事を確認できるツールとなっている。
	各種児童館行事のポスター・チラシ	適宜	主に乳幼児の保護者	館内掲示、利用者に直接配布、ホームページへの掲載など	行事日時・内容など	各行事に対象を絞った広報であり、チラシを直接渡すことでより積極的な広報につながっている。

ファイル名

最終更新日時

2026\_05\_18\_14\_06\_33\_小野児童館\_事業活動報告書101~105\_202 2026/5/18 14:48

2026\_05\_18\_11\_18\_38\_小野児童館\_事業活動報告書101~105\_202 2026/5/18 12:00